



第82期 第2四半期株主報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第82期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成26年12月

取締役社長 宮地 敬一郎
Keishiro Miyaji

安定成長を実現すべく、全社

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください。

A 企業の設備投資計画の見直しから減収減益となりました。

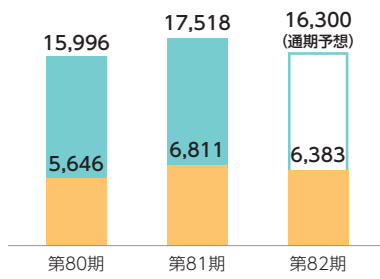
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の推進を背景に、株価の持ち直しや円安による輸出企業の業績改善が見られ、緩やかながら景気回復への動きが見られました。しかしながら消費増税による国内経済への影響や新興国経済の減速といった世界経済の下振れリスクなどの懸念材料を抱えており、先行き不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、2013年度から2015年度までの中期経営計画「SAP15(Seibu Action Plan for 2015)」を策定し、当社グループは「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって、安定成長を実現すべく、全社を挙げて努力してまいりました。

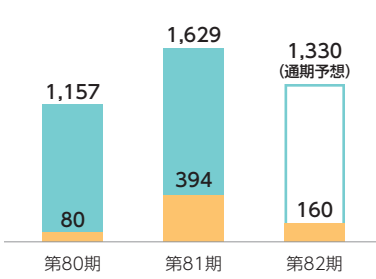
当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は円安

業績ハイライト・Financial Highlights

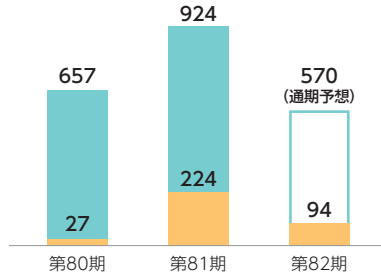
売上高 単位：百万円



経常利益 単位：百万円



四半期(当期)純利益 単位：百万円



を挙げて努力してまいります。

効果などにより輸出が伸びましたものの、企業の国内設備投資計画の見直しなどの影響もあり、79億6千9百万円(前年同期比 4.7%減)となりました。売上高は輸出の増加がありましたものの、前年同期は大口物件の納入があったこともあり、63億8千3百万円(前年同期比 6.3%減)となりました。また、損益においては、経常利益は1億6千万円(前年同期比 59.3%減)、四半期純利益は9千4百万円(前年同期比 58.1%減)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A コストダウンと経費削減に一層注力し、企業体質の強化に努めます。

当社グループといたしましては、経済環境の変化を捉え、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に意識して、新市場に果敢に挑戦してまいります。さらには、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高163億円(前期比 7.0%減)、経常利益13億3千万円(前期比 18.4%減)、当期純利益5億7千万円(前期比 38.4%減)を計画しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

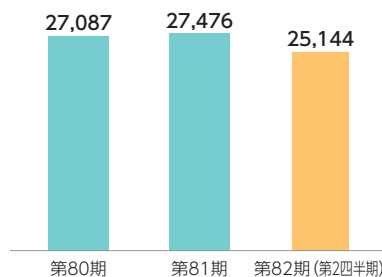
A 当第2四半期末の配当金は、5円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

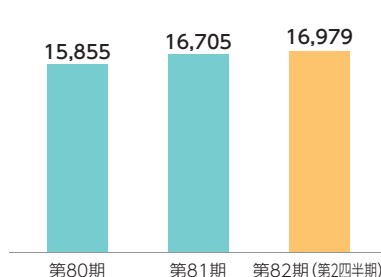
当第2四半期末の配当金は、1株当たり5.00円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

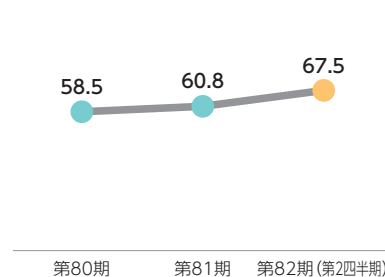
総資産 単位：百万円



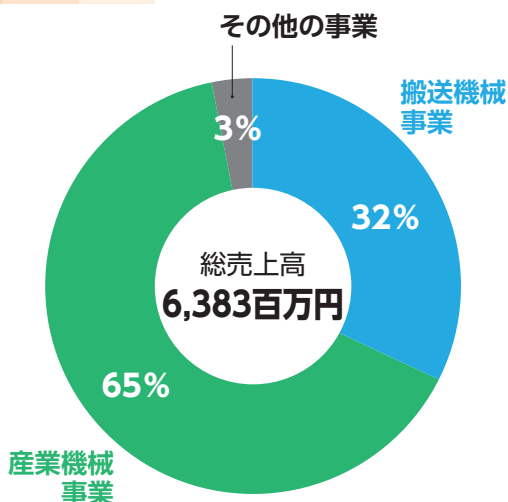
純資産 単位：百万円



自己資本比率 単位：%



主要な事業別営業の概況 *Operating Overview*

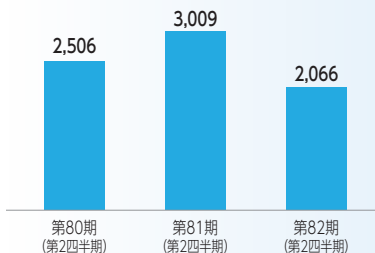


搬送機械事業

売上高 **2,066**百万円

(前年同期比 31.3%減)

売上高 単位：百万円



搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

しかしながら、国内設備投資の見直しなどの影響もあり、受注高は27億7千4百万円(前年同期比 18.7%減)、売上高は前年同期は大口物件の納入があったこともあり、20億6千6百万円(前年同期比 31.3%減)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

ケースピッキングクレーン



立体自動倉庫



搬送・ハンドリングシステム



TOPICS 国際物流総合展2014に出展

会期：2014年9月9日(火)～9月12日(金)

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

搬送機械事業では『物流に新たな価値を創造する』をテーマに、ケース系高速クレーン「マルチソーティングRIO」と「ボイスピッキング」を組み合わせたシステム商品を出展いたしました。

今回出展した商品は、音声ガイダンスに従い、ハンドフリーでピッキング作業を行うことが可能なため、作業効率の向上が図れます。また、複数の作業(保管・補充・ピッキング・仕分けなど)を一つのシステムで完結させることが出来るため、従来にない省スペース化を実現しました。さらに、「RIO」の電源には、エネルギー転換が高効率なりチウムイオンキャパシタ(蓄電装置)を搭載させ、省エネと低汚塵(クリーン)を追求しました。



この出展をチャンスとし、既存カスタマーへの深耕営業は勿論のこと、新規のお客様からの受注獲得・拡販を図ってまいります。

産業機械事業

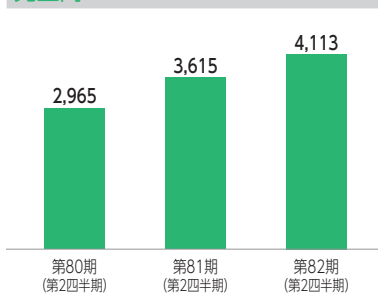
売上高 **4,113**百万円

(前年同期比 13.8%増)

産業機械事業の産機部門では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。また、精密機械部門では、既存顧客の更新需要や海外市場の開拓に注力してまいりました。

その結果、精密機械部門で輸出が増加し、受注高は50億2百万円(前年同期比 4.8%増)、売上高は41億1千3百万円(前年同期比 13.8%増)となりました。

売上高 単位：百万円



主要商品

産機部門

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

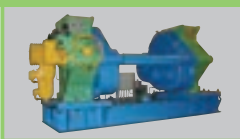
精密機械部門

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精度小形NC旋盤
- 正面施盤

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置 (大型60t)



ワイヤ放電加工機(油仕様)



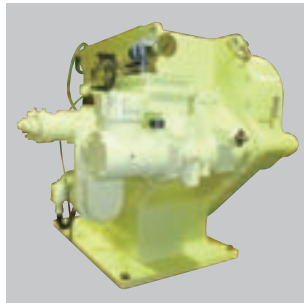
高精度小形NC旋盤



TOPICS 産機部門

国土強靱化計画対応 大型チェーン式水門駆動装置の開発

東日本大震災発生以後、堤防は頑丈で大きく、背の高いものへと変わっており、そこに設置されるゲートも大型化しております。これに伴い、ゲート駆動装置も大きな開閉能力が要求されるようになったため、駆動装置も大型ワイヤドラム式からチェーン式へ、さらに大型の60t～160tクラスは動滑車チェーン式へと移行してきています。



当社はそのようなニーズに応えるため、昨年開発しました開閉能力60tのピンラック式(LPM型)に続き、チェーン式(LCM型)のゲート駆動装置を開発し、納入しました。

今後も市場動向を迅速に捉え、商品開発に注力してまいります。

TOPICS 精密機械部門

ベトナムで ワイヤ放電加工機をアピール

ベトナム最大の都市ホーチミンで開催された工作機械展示会「MTAベトナム2014」にVietnam Precision Industrial Joint Stock Company殿(現地の代理店)との協賛で、ワイヤ放電加工機を出展いたしました。

今展示会には、日系の工作機械メーカーが多数出展しており、日系企業のベトナムに対する関心の高さが伺えます。今回は2回目の出展でしたが、当社の知名度も少しずつ上がってきており、手応えを感じています。

ベトナム経済は、2014年もGDPは5%台の成長が見込まれ、サムスンやFOXCONNの組立工場もあり、今後も金型産業が大きく発展していくことが期待されます。

当社としてもこの波に乗り遅れないよう、ベトナムでの拡販に注力してまいります。



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第82期第2四半期 平成26年9月30日	第81期 平成26年3月31日
資産の部		
流動資産	13,257	15,289
固定資産	11,887	12,186
有形固定資産	8,820	8,909
無形固定資産	14	13
投資その他の資産	3,052	3,263
資産合計	25,144	27,476
負債の部		
流動負債	4,941	7,254
固定負債	3,224	3,516
負債合計	8,165	10,771
純資産の部		
株主資本	12,811	12,739
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	7,541	7,468
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	4,167	3,965
純資産合計	16,979	16,705
負債純資産合計	25,144	27,476

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第82期第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第81期第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	6,383	6,811
売上原価	4,695	4,993
売上総利益	1,687	1,817
販売費及び一般管理費	1,536	1,446
営業利益	151	370
営業外収益	32	31
営業外費用	23	8
経常利益	160	394
特別利益	1	8
特別損失	0	7
税金等調整前四半期純利益	161	395
法人税、住民税及び事業税	9	93
法人税等還付税額	△3	△35
法人税等調整額	61	112
少数株主損益調整前四半期純利益	94	224
四半期純利益	94	224

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第82期第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第81期第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164	△86
現金及び現金同等物の増減額	917	33
現金及び現金同等物の期首残高	5,681	5,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,598	5,401

会社概要 ・ Corporate Profile

平成26年9月30日現在

■ 会社の概況

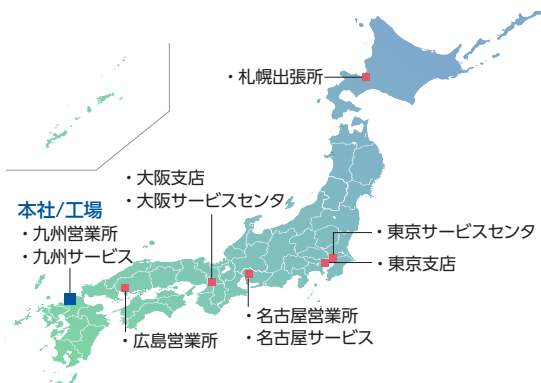
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	410名(連結461名)

■ 役員

取締役会長(代表取締役)	吉住 一成
取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	池田 佳隆
常勤監査役	大串 秀文
監査役	小西 正純
監査役	吉田 一昭

(注) 監査役小西正純、吉田一昭の両氏は社外監査役であります。

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,284名

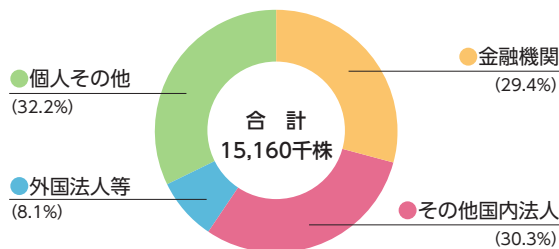
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,534	10.1
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,060	6.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	389	2.5
村上 博	215	1.4

(注) 1. 持株比率は自己株式(9,784株)を控除して計算しております。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から平成26年7月9日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成26年7月2日現在同社が2,669,300株(保有割合17.6%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

【特別口座の株主様へご案内】

1.株式の売買について

「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等を受取るには、証券会社等を通じて受取る「株式数比例配分方式」の手続きが必要となります。「特別口座」の株主様は「株式数比例配分方式」をご利用いただくことが出来ませんので、別途手続きが必要となります。詳細は上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬溪流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品をつくり、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。